

株式会社 宝石時計の武内

(福井県福井市) 常用労働者数：46名

小売販売業



新入社員の定着率を高めるため、研修制度の充実をはかる

従来からの販売スキル研修に加え、仕事の意欲を高める内容やキャリア形成に関する内容を追加。

TAKEUCHI
Since 1948

設立年：1948年12月
常用労働者数：女性35名、男性11名
平均年齢：女性32.9歳、男性38.0歳
平均勤続年数：女性4.7年、男性7.6年
役職者における女性割合：
役員33.3%(1名)
管理職(部長・店長)44.4%(4名)
係長76.9%(10名)
平均残業時間：3.9時間/月
有給休暇取得率：50.9%
育児休業取得率：
女性100%(1名)、男性100%(1名)
(2018年8月時点)

企業認定等：

ふくい女性活躍推進企業

事業内容：

宝石、宝飾、プライダグジュアリー、
貴金属、時計の小売販売業

URL：

<https://www.g-takeuchi.com/>



社員同士で行うロールプレイング大会

女性活躍推進アドバイザーから

現状分析の結果、入社1年未満の離職率が高いことが分かった。もともと人材育成研修には力を入れている会社ではあったが、新入社員が必要とする研修の内容についての対策を一緒に検討し、アドバイスした。

【アドバイザー：河合 安子】

女性活躍推進に取り組むきっかけと課題の分析

せっかく入社した新人には、長く働いてほしい

福井市を中心に北陸に6店舗展開している。宝飾品等の販売業のため女性社員は多く、主任クラスの女性も多い。

ところが、女性活躍を進めているのに、入社間もない女性社員が離職してしまう。現状を分析したところ、研修制度については、宝飾品という高価な商品の特性から、主に販売スキル研修を実施してきたが、新人への研修やきめ細やかなフォローが欠けていたということが分かった。新入社員向けの研修内容を見直し、入社した新人の定着率を高めることとした。

一般事業主行動計画の概要

計画期間：2018年4月1日～2020年3月31日

現状と課題

平均勤続年数を男女で比較した場合、女性の方が短い。

目標

キャリアアップ、スキルアップ研修制度を充実させ、研修受講率を90%以上とする。

取組の内容

全社員の研修受講と研修内容の見直し

これまで研修は希望者のみを参加させていたため、受講者の意欲と店舗の都合による偏りがあった。これを、全社員が受講するものに見直し、内容も、働く意欲を高める研修や、売り場で役立つロールプレイング研修を新たに追加した。さらに、福井県が行っているキャリア形成に関する研修への参加などにより、育成のみならず社員の「継続して働く意欲」を高めることとした。

特に、新入社員に対しては、入社前に社内交流会への参加を促し、入社後の仕事や、自分のキャリアプランをイメージしてもらえらる機会を設けた。

取組のポイント

研修受講率90%の目標を達成

全社員に研修を受講させる上での業務スケジュールとの調整が難しかった。思い切って店を臨時休業にしたり、1日2回の二部制研修にする等、遠方店舗のスタッフも受講しやすいように工夫した。また、総務部長自ら社員に受講を声がけし、目標の受講率90%を達成することができた。



研修の様子

さらに、内容がマンネリ化しないよう、1年おきに専任講師を変更するといった工夫をした。

効果

研修を通しての育成が上手くいくことで、新入社員の満足度が上がり、定着も見込まれると考えている。